



競 技 注 意 事 項

競技一般について

1. 参加チームは、平成27年度関西学連京都支部所属大学登録者とし、他支部所属大学においては、平成27年11月21日（土）の第77回関西学生対校駅伝競走大会に出場した大学と平成27年10月4日（日）の第77回関西学生対校駅伝競走大会予選会において13位以内に入った大学のみオープン参加を認める。
2. 本大会は学校対抗とする。参加チーム数は各校とも1チームとし、オープンチームは各校1チームのみ参加を認める。
3. 各校とも、正選手6名、および補欠4名以内で1チームとする。
4. 中継にはタスキを用いる。タスキは必ず肩にかけること。タスキは必ず前走者と次走者の間で手渡さなければならない。タスキ渡しに際して、前走者がタスキを外すのは中継線手前400mから、次走者がタスキをかけるのは中継後200mまでをおおよそ目安とする。
5. 走者はいかなる場合でも道路の左側（路側帯付近）を走り、交差点ではその中心線より右側に出てはならない。また、曲がり角を右折する場合も、同様に道路の左側を通して右折すること。
6. 走者が勝手に走路から退去すると、その後の競技は続行できない。
7. 走者はいかなる場合も、飲食物を携帯、飲食することはできない。
8. 競技中に大会・競技役員から競技中止を命じられた走者・チームは直ちに競技を中止しなければならない。
9. 一区間の途中で走者を交替させることは出来ない。
10. 走者が途中で競技を続行することができない状態になったとき、または競技中止を命じられた場合、該当チームのその区間の競技を無効とする。但し、そのチームは審判長の指示に従い、次区間走者から競技を再開できることがある。この場合はそのチーム全体の記録・成績は認められない。但し、各区間記録は認める。
11. 中継は、中継線から進行方向20m先の白線の間で中継しなければならない。
12. 競技中に不慮の事故が発生した場合、応急手当はするが、それ以上の責任は取らない。
13. 伴走は一切認めない。

◎選手変更

オーダー用紙提出後に正(オープン)チーム選手変更をする場合は、そのチームの補欠選手からのみ補充を認める。変更をする場合は12月6日（日）午前7時10分までに所定の用紙に記入し、診断書を添えてスタート地点（北大路橋西側河川敷）の大会総務まで申し出ること。但し、急病で診断書が手に入らない場合は、後日、診断書を関西学連事務所まで送付すること。



◎繰り上げ出発

先頭通過後

| | | | |
|----|----|----|----|
| 4区 | 4分 | 6区 | 5分 |
|----|----|----|----|

(4区中継所はスタート地点、6区中継所は庄田橋)

◎招集

第1招集、第2招集（最終招集）とも中継点にて行う。

| | 1区 | 2区 | 3区 | 4区 | 5区 | 6区 |
|----------|------|------|------|------|------|------|
| 第1招集時刻 | 7:50 | 8:14 | 8:29 | 8:45 | 9:09 | 9:24 |
| 第2招集時刻 | 8:00 | 8:24 | 8:39 | 8:55 | 9:19 | 9:34 |
| 先頭通過予定時刻 | 8:10 | 8:34 | 8:49 | 9:05 | 9:29 | 9:44 |

車両について

1. 伴走車は一切認めない。
2. 大会車両以外の車は、競技中いかなる理由でもコース内に立ち入ることを禁ずる
3. 選手の配置、回収は競技開始前、終了後に実施し競技中は絶対に実施しないこと
4. 監督・コーチ及び応援者といえども1、2、3を厳守すること
5. 選手の配置、回収など大会当日に生じた事故について、大会本部は一切責任を負わない

その他

1. タスキは各チームで作成し、12月5日（土）の代表者会議で認印を受けること。
繰り上げ出発の際のタスキは、大会本部で用意し、該当チームに配布する。
2. ゼッケンは各チームで白地に黒字（オープンチームは赤字）で作成し、胸・背部に外れない様に付けること。（右図参照）また、1区、4区、6区の選手については、送付した蛍光テープを背部ゼッケンの上下につけること。
3. 閉会式は競技終了後、京都産業大学総合体育館第二演習室にて行う。各大学代表者、および表彰を受ける選手は必ず出席すること。
4. 選手の持ち物には全て大学名、氏名を明解に記入すること。特に、貴重品の管理は各自の責任のもとで厳重に行うこと。
5. 大会当日、大会規則並びに選手注意事項に対する違反行為や、大会役員、競技役員、補助員、警察官に従わない行為等があった場合、失格とすることがある。

